

皆さま、こんにちは。編集長の天野恵実子です。

本誌「月刊経理WOMAN」の創刊は1996年4月のことです。以前私は別の出版社で経理・税務の雑誌を編集していたのですが、「経理や税金の記事は難しい！ ビギナーでも理解できるようにやさしく解説できないのかなあ…」と常々思っていました。そこで税務や社会保険についてビギナーの経理・税務・総務担当の方でも理解できるよう、できるだけ分かりやすく解説することをコンセプトに創刊したのが「月刊経理WOMAN」です。創刊からあつという間に28年が過ぎましたが、おかげさまで現在、全国4万人の経理総務ご担当者の皆さまにご愛読をいただいています。



## 月刊経理WOMAN 2024年12月号 にはこんな記事が掲載されています！

「月刊経理WOMAN」2024年12月号の特集企画では、「会社にお金(キャッシュ)を残すための実践テクニック」をご紹介します。**会社経営には「マサカの坂」があります。**たとえ現在利益が出ていても、突然リーマンショックのような経済危機が訪れるかもしれません。また、品質不良や施工不良などで社内  
に大きな問題が生じるリスクもあります。**そんなときに一番頼りになるのが「キャッシュ」です。**では手元の「お金(キャッシュ)」を増やすためにはどうすればよいのでしょうか。今月号の特集では「経費を増やす」「税金を減らす」という観点から、**会社にお金(キャッシュ)を残すための実践テクニックをご紹介します。**本特集を参考にぜひ「マサカの坂」に備えてください。

特集

「経費を増やす」「税金を減らす」…「マサカの坂」にはこう備えよう!!

# 会社にお金(キャッシュ)を残すための実践テクニック

会社が潰れるたった一つの原因は、「お金がまわらなくなる」と。会社にとって、お金(キャッシュ)は血液と同じです。「まさかこんなことが起こるなんて」という「マサカの坂」が訪れたとき、普通は会社の業績が急に落ち込みます。**しかし、そんなときでも、体力がある会社、言い換えるとお金が潤沢にある会社は、比較的短期間で「マサカのピンチ」を切り抜けることができます。**12月号の特集企画では会社にお金(キャッシュ)を残すための10の実践テクニックをご紹介します。

### 10の実践テクニック

含み損のある不動産を売却する／固定資産を売却する／在庫の棚卸を行ない、不良在庫を処分する／回収不能な売掛金や貸付金は貸倒処理する／電話加入権を売却する／特別償却を活用する／税額控除を活用する／修繕費を増やす／経営セーフティ共済を活用する／短期前払費用で節税する



別冊  
付録

## 令和6年版「年末調整まるかじり」

今年も年末調整の時期がやってきました。**今年の年末調整では定額減税に関する事務手続きがポイントになります。**具体的には令和6年6月2日以降に採用された従業員や扶養親族が増えた従業員について、年末調整で定額減税額を控除する必要があります。また、保険料控除申告書の様式の変更や、令和7年分の扶養控除等申告書に簡易な申告書が創設された点等にも注意が必要です。**本付録では年末調整の基本知識から改正ポイント等をビギナーにも分かるようにレクチャーします。ぜひ役立ててください!**

